

月刊 書字文化

No. 23

2014 年 10 月号

一般社団法人日本書字文化協会
代表理事・会長：大平 恵理
編集長：佐藤 貴子
〒164-0001
東京都中野区中野 2-13-26
第一岡ビル 3 階
TEL 03-6304-8212
info@syobunkyo.org

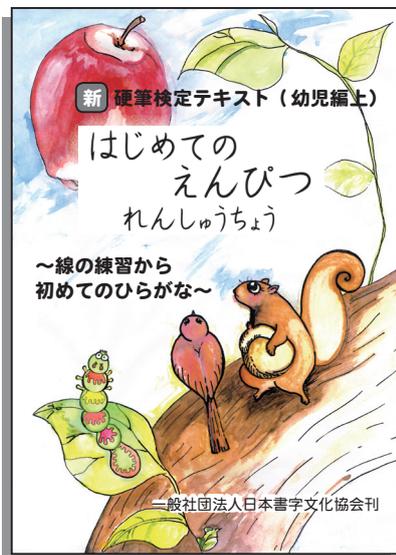
《目次》

- ◇ 学生書き初め展覧会・・・ 2
- ◇ 臨書展応募締切延期・・・ 2
- ◇ 新・硬筆検定幼児用テキスト刊行・・・ 3
- ◇ ライセンス試験・・・ 4

第3回伝統文化大会 実施要綱決まる

権威ある全国審査、手本あり

一般社団法人日本書字文化協会、公益財団法人文字・活字文化推進機構共催、文部科学省、小・中・高各校長会、全書研など後援の第3回全国書写書道伝統文化大会は、今年度も平成27年1月17日、応募作品必着で開催されます。全国年賀はがきコンクール、学生書き初め展覧会で構成され、正月にちなむ年賀、書初めに参加することで、日本の伝統文化を強く意識する大会を目指しています。



新・硬筆検定

園児用テキスト近く刊行

新しい硬筆検定は、園児対象に、えんぴつの持ち方の練習から始まります。園児用上下2冊は、近く刊行予定です。

伝統文化大会の特色は書写書道教育の権威者がそろう書文協中央審査委員会が、厳正な審査に当たることです。全国レベルでの力を試す機会として奮って応募してください。出品料も基本的に据え置かれます。(2面に関連記事)



大平 恵理

こころ

小6の末娘の運動会に付き合いました。子どもたちは元気いっぱい。娘も苦手の徒競走を精一杯走りぬきました▲付属の書写書道専修学院で子どもたちに教えています。欲しいのは、嬉々とした笑顔と一生懸命さ。この二つが身につけば、着順は問いません▲娘をほめてあげなくちゃ。秋晴れの一日でした。(書文協会長)

書初め（毛筆）に規定課題・手本

伝統文化大会の学生書初めコンクールには、年賀はがきコンクールと学生書き初め展覧会があります。このうち、書き初め展の毛筆の部では、小学校3年生以上は書文協として規定課題・手本を定めていませんでしたが、今大会から規定課題を定め、参考手本も発行することとしました。いずれも書写教科書からとった課題ですが、参加者全員が同じ条件となるよう、大平恵理会長が見本手本を揮毫し、発行することとしました。

同時に、作品を書くときに注意すべきポイントを書いた「評価の観点」も発表されますので、コンクール参加が書写書道学習に直結します。

地域大会参加課題は自由課題で出品を

一方、各地域のコンクールで出品した課題は、書き初め毛筆の「自由課題」の部で参加することができます。その際、用紙は半紙から半切まで自由です。ただし、縦書き、縦使用が条件となります。使用する漢字も、教育漢字の学年配当を守るものが求められます。

年賀・書き初め中学生以下出品料据え置き

全国年賀はがきコンクールは全体として、学生書き初め展

覧会は毛筆も硬筆も中学生以下は値上げしません。ただし、消費税は5%から8%となります。

各出品料は左記の通りです

単位・円	消費税8%込み	個人は一律1296円	
個別コンクール	幼小中	高校以上	
年賀はがき	硬毛同じ	380	648
書き初め	硬筆	432	648
	毛筆	540	907

臨書展応募締め切り

来年3月末に延期

特別寄稿展示会は予定通り

書文協は、同文の国である日本と中国の文化理解を進めるため、また書の基本である臨書を広めるため、漢詩「楓橋夜泊」を題材とした第1回臨書展を開催しますが、作品締め切りは27年3月末日まで延期します。この臨書展については、中国の蘇州・寒山寺、国立南京芸術学院など権威ある団体がこぞって後援に入ってくださいました。こうした期待に応えるためにも準備態勢を整えるものです。青梅市沢井、澤乃井ガーデンでの展示会はイベントとして11月25日から30日まで、予定通り開催します。

新・硬筆検定園児用テキスト近く刊行

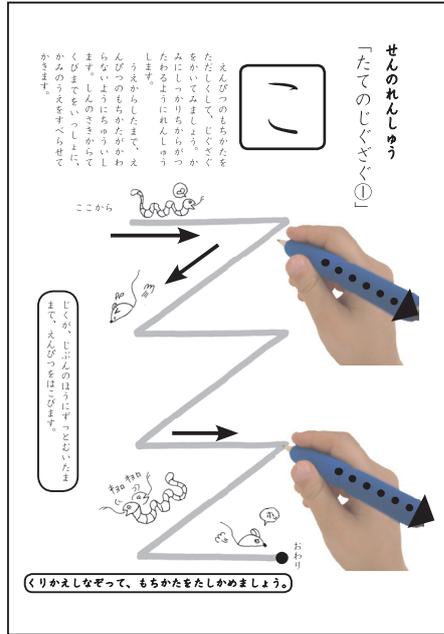
幼児編上

「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう」(4 課題)

幼児編下

「えんぴつひらがなれんしゅうちょう」(6 課題)

(共に本体 600 円 消費税込み 648 円)



検定の見直しに取り組んでいる書文協は、現在 2 コースに分かれている硬筆楷書、硬筆行書の 2 コースを一本化した硬筆書写書道検定(新・硬筆検定)を創設しました。一連の学びの中で、中学生標準段階から行書が入り、最終的には草書にも触れるのが特色です。

硬筆は、えんぴつやペンなど毛筆以外の筆記具で文字を書くことを指すもので、書写書道の日常化・実用化推進に直接つながるものです。じっくりと練習効果が出る現検定は残しながら、誰でも濃縮した学びで書写書道の基本を早く身につけることができる新・硬筆検定をスタートさせるものです。

段級が取れます

(上) 10 級 (下) 8 級

新・硬筆検定は本シリーズ(小学 1 年標準以上) 15 冊計 120 課題ですが、その前に保育所・幼稚園の幼児向けコースを設けました。えんぴつの持ち方や姿勢から入り、親しみながら文字の書き方を身につけるのは幼児期が最適です。

検定の実際は、前号で発表した新・硬筆検定実施要項の通りですが、検定と連動している段級の付与は、園児新検定でも同じです。検定成績により(上)では最初の 10 級、(下)では最高 8 級が付与されます。

詳細は、書文協本部(03-6304-8212)まで。

ライセンス試験

学校教育部門は12月実施

学校教育部門のライセンス試験を12月上旬に実施します。11月上旬に申込書を配布いたします。学びが資格として認定され、記録として残りますので皆さん受験しましょう。

えんぴつライセンス夏・秋シリーズ終了

東京から始まり福岡まで1都1府3県で実施した「えんぴつ指導者ライセンス講習会」が終了しました。書く姿勢、えんぴつの持ち方から始まり字形、ひらがなの結びの違いなど大平会長の講義を皆さん熱心に聴講されていました。次回シリーズは近く発表されます。

公開審査会、会員総会、合同懇親会開く

中央審査会を見学希望の会員には公開する初めての試みが、9月28日、中野ゼロホール展示ギャラリーで実施され、



中央審査委員ら10人、約15人の見学者が詰めかけ、熱心な審査が続ききました。午前には会員総会が開かれ、約20人が参加、夜は合同の懇親会。加藤東陽審査副委員長は「公開審査でちよと緊張しました」とあいさつしました。



「昨日より今日、

明日より今日」

昨春秋、約30年ぶりに小学校のクラス会が開催された。

そこで、幹事が先生にサプライズを仕掛けようと、バースデーパーティーがその一つにあげられた。

ならば私は、お祝いに先生の好きな言葉を書いてお酒のラベルを作り、プレゼントしようと考えた。

何も言わず、「先生好きな言葉は？」との問いに対して数日後この言葉「昨日より今日、明日より今日」が届いたのだ。

当日、手渡されたプレゼントを手にし、喜んでくれたとともに、この言葉をメンバーにも贈ったと聞いた。

30年も経てばみんな何等か抱えていたり、山あり谷ありの人生を送っているわけで、同じような想いを持っている。その中で、色々なものを出し合える場所、仲間をまた作り出したのだった。

これは恩師の造語。「今までは、昨日より今日、今日より明日。」と思つて生きてきたが、何があるかわからない明日よりも、今日を懸命に生きよ。」と。

そしてメンバーは、今日も輝きながら「今」を生きている。

渡邊 啓子（書文協副会長）